

今年の通常総会は、池尻のせたがやがやがや館で開くことが決つていたので、二月には会場を予約しました。この会場は、テーブル、椅子等を自分達で倉庫から出して、セッティングをするので、今年は総会前に開く予定の理事会を中止して、会場設営をしました。予定通り十一時より第十一回通常総会を開催しました。今年は議長を若手の實井理事にお願いして、第一号議案の平成二十七年度事業報告から平成二十八年度の予算案まで、発な意見交換が行われた後、無事承認されました。

続いて新役員の選出、紹介が行われ、新しい理事に私や松宮氏の学友である、土方貞久氏(医師)が加わり、紹介されました。

彼は慶應義塾大学医学部を出て、東京電力病院の院長として勤務、その後、町田市にある社会福祉法人讀育会清風園診療所の医務部長を務めています。機会があれば、医療相談会等を開きたいと考えています。

ひまわり通信 SSKS No.81



理事長 隅 一 清

等がズラリ、飲んべえ会員にはうれしい限りです。美味しい料理も次から次へと運ばれ、会話も弾んでいました。恒例のアトラクションは、ギターの弾き語りでジャズやバラード等、北海道を中心として、活躍している福沢恵介さんにお願いをして来て頂きました。彼は、一ヶ月に一度くらい自由が丘の喫茶店でコンサートを開いています。

仲々の美声で、音楽好きの会員たちは、感激していました。

今年も申請通りの助成金が支給される事になり、六月には半額が振り込まれました。

移送事業も障害児童のデイや高齢者のホームの移送等もあり、ドライバーの皆様に頑張つてもらっています。

出席者 五十八名





~第11回懇親会会場風景~



福沢恵介さんプロフィール

今回総会の後の懇親会で、ギターの弾き語りをして頂いた、福沢さんは北海道の札幌を基点として東京、名古屋、新潟、長野等で、愛と自然をテーマにコンサートを開いています。

一九七五年から二〇〇八年まで、ラジオパーソナリティとして活躍、一九八四年野風増パーソナリティとして活動の人気を不動のものにしました。ただこの野風増は河島英吾の方が広く知れ渡つてしまつたとの事です。一九九二年、日本人として初めてサハリンでコンサートを行いました。

一九九九年札幌すすきのにライブハウスをオープン、若手ミュージシャンを育てました。その他、各地のイメージソングを作曲したり、東京広尾でディナーコンサートも行っています。ぜひお出かけ下さい。



《お詫び》

海鼠買ふつづいてみると縮まつて
千年の御所千年の桜かな
今年また二人そろつて桜餅

堀之内千代

ひまわり通信80号に掲載したひまわり句会の中で、堀之内さんの句が抜けてしまいました。校正でも確認したのですが…。申し訳ありませんでした。改めて掲載します。

亀井歌子さんが俳句の本を出版しました!

亀井歌子の歌
頑張り屋の歌
運営に宜しく



俳句との出会いは、私は(理事長)の友人である菅野氏がヒューマンハーバーでも俳句の会を作らないか?と呼びかけ、亀井さんが準備や、お茶を入れての処から、この世界に入つていったのですが…。菅野氏曰く、普通の主婦が、普段の生活の中で、普通に詠んだ句集で、彼女の生きざまが、現れている:と後記に書いています。

俳句に興味があつて、読んでみたいと思われる方は、事務所に連絡して下さい。

内さんに続いて、永年作り続けて来た句をまとめて、本にしました。亀井さんは忙しい中、書道は二十年以上続けていて腕前はプロ級です。

俳句との出会いは、私は(理事長)の友人である菅野氏がヒューマンハーバーでも俳句の会を作らないか?と呼びかけ、亀井さんが準備や、お茶を入れての処から、この世界に入つていったのですが…。菅野氏曰く、普通の主婦が、普段の生活の中で、普通に詠んだ句集で、彼女の生きざまが、現れている:と後記に書いています。

ひまわり句会

菅野孝夫 選

羽音しきりに小癪なり熊ん蜂
忘れたきこと多々ありぬ髪洗ふ
点眼と点鼻やビール飲み干して
鳥の子一丁前に尻を振り

高橋民枝
小松原錦子

宮沢みどり

緑酢の南蛮漬や小鱈の目
寝冷して日がな一日大とるる
新玉葱包丁の刃に逆らはず

大谷のり子

花の名は知らねど蛇の来て止まる
子らの声うしろに迫る登山道
二人乗りリフトで登る涼しさよ

小田原郁代

名はみどり曾孫生まれて風薫る
西日差すバスに揺られて帰りけり
冷奴竹の器に葱刻み

亀井歌子

五月晴働き者の洗濯機
バスを待つ日陰に入りてストレッチ
梅干の蜜のかおりや朝のお茶

竹内ひな子

街を行く二の腕しうき夏はじめ
子らの声響くあたりに夏来る
窓枠にそそまつてゐる夏木立

加藤夕湖

短夜やしに古事記読み
紫陽花のベンチにしばしまどうみぬ
草むしり終つてからの生ビール

堀之内千代

行事報告

◎春の研修旅行一泊二日の旅

ひたち海浜公園

五月十四日(土)～十五日(日)

今年は海浜公園のネモフィラの花を見る事を最大の目標にしていたのですが、四月上旬に下見に行つた時が七分咲きとかで、蒼い山並みが一面に広がっていて、下旬が満開との話でした。例年だとゴールデンウィーク頃から咲き始めるのですが、今年は一ヶ月近く早く咲いたとか…。花は気まぐれで…。

入口からシーサイドトレインに乗りますは観覧車のある中央広場で下車、早目の昼食をレストランで食べて解散。各自好きな処を見て翼のゲートに三時に集合する事にして…。心配していたネモフィラの丘は、まだ少し花が残っていました。でもほとんどの参加者は、観覧車に乗つたりして遊園地で遊び過ぎて、集合時間に間に合わないとかで、ネモフィラの丘でゆっくりできなかつたようです。

翼のゲートに三時に集合して、かんぽの宿大洗に向かいました。

かんぽの宿も最近は平日でも一万三千円で、土、日になると一万六、七千円になります。チヤリティを使っても障害者で一万円位になり、付添いは一万三千円になりますが、夜はバイキングでないと、洋室があるという事で我慢しています。

翌日は宿の近くにあるアクアワールド水族館に入り、サメや、マンボウ等を見たり、イルカのショー等も見学したりしました。ここも、当会は、障害者施設では無いとの理由で、減免申請は受けられず、障害者手帳のある人のみの申

割引となりました。見学終了後、大洗リゾートアウトレットに向かいました。その中にある海鮮食事処「お魚天国」に寄つて美味しい昼食をいただきました。色々気を使つてくれて、帰りには全員にお茶も頂きました。近くのメンタイ会館や、那珂港おさかな市場等で夕食の買物を楽しんでから、高速道路を乗りついで、三軒茶屋から野沢に帰つて来ました。今回は人数が少なかつたので、バスをやめて、会の車一台と持込車両二台計三台で行きました。天候にも恵まれてゆっくりした旅行ができたと思います。

参加者 十六名



日帰り バスハイク入笠山
七月二十四日(日)

梅雨明け間近の日曜日とあつて、朝から暑い日陽射しが照りつけていましたが、少し早目に野沢を出発しました。談合坂で休憩をして、一路、富士見パノラマリゾートに向かいました。予定通り昼に到着、昼食をいただき、ゴンドラに乗つて展望台へ…。身体の不自由な人の為にゴンドラを完全に止めて頂き、全員無事到着しました。

お花畑には、アヤメ、シモツケソウ、キスゲ、マツムシソウ等の花が一面に咲いて我々を迎えてくれました。時間があれば湿原の方にも足をのばしたいのですが…、無理なので次回に、しました。下山してから、サントリーの洋酒工場に立寄り、ウイスキーを試飲してご満悦な人も…。「道の駅はくしゅう」に寄つてお買い物ツアーフ。久しぶりの好天に恵まれたのと、夏休みに入つての最初の日曜日とあつて、大渋滞に巻き込まれましたが、八時過ぎに無事野沢に着きました。

参加者 二十九名

